



平成26年度シンポジウム

社会に羽ばたく博士人材の育成 ～英国Vitaeの経験と日本の取り組み～

名古屋大学博士課程教育リーディングプログラム「PhDプロフェッショナル登龍門」では、英国の学術能力開発機関Vitaeの経験を共有・検討するために国際シンポジウムを開催致します。世界的な規模で進む高等教育の再編に関する情報を共有し、今後の日本の博士人材育成のあり方を検討するために、ご出席いただければと存じます。

プログラム (予定)

第1部 英国におけるVitaeの取り組み

Vitaeは、英国における博士人材の能力開発に関わる研究実績・プロジェクト経験を集約する機能を備えた中核的組織であり、ヨーロッパ全体にその影響力を拡大しつつあります。Vitaeも関与して進められているトランスファーラブル・スキルズ・トレーニングは、大学院で教育を受けた人材が社会進出するために有用な知識・経験を提供するものとして、リーディング大学院を含む日本の高等教育の今後を考えるためにも重要だと考えます。



ジャネット・メトカーフ博士

Dr. Janet Metcalfe

過去25年以上にわたって高等教育における研究者開発の課題に深く関与し、Vitaeとその前身であるUK GRADプログラム創設において責任者を務めました。欧州委員会人材育成および流動性問題ワーキンググループ専門委員。

- 10:00 ▶ 10:10 **開会挨拶** 濱口道成 (名古屋大学総長)
- 10:10 ▶ 10:15 **来賓挨拶** 猪股志野 (文部科学省 高等教育局 大学振興課 大学改革推進室長)
- 10:15 ▶ 11:00 **基調講演** ジャネット・メトカーフ博士 (英国Vitae代表)
- 11:00 ▶ 11:15 **質疑応答**
- 11:15 ▶ 11:30 **休憩**
- 11:30 ▶ 13:00 **パネルディスカッション**
 ジャネット・メトカーフ博士 (英国Vitae代表)
 ジョン・ターナー博士 (エジンバラ大学 学術能力開発研究所所長)
 猪股志野 (文部科学省 高等教育局 大学振興課 大学改革推進室長)
 岡本拓也 (科学技術・学術政策研究所 総括上席研究官)
 石田建昭 (東海東京証券株式会社 代表取締役会長 最高経営責任者)
 (中部経済同友会 代表幹事)
 塚本 恵 (日本アイ・ビー・エム株式会社 政策渉外部長)
 (文部科学省 科学技術・学術審議会人材委員会委員)
モデレーター: 戸渡文子 (ブリティッシュ・カウンシル
 プロジェクトマネージャー (教育推進・連携))
 ※討論の中で各大学 (筑波大学、大阪大学、広島大学、名古屋大学) の取り組みを紹介。

第2部 名古屋大学PhD登龍門の取り組み

14:00
17:00

これまでのPhD登龍門の取り組みを、トランスファーラブル・スキルズ・トレーニングの事例も含めて紹介します。

言語 日本語・英語 (同時通訳あり)

- 14:00 ▶ 14:15 **名古屋大学「東海東京FHグローバル事業」覚書調印式**
- 14:15 ▶ 14:20 **開会挨拶**
山本一良 (名古屋大学 教育担当理事)
- 14:20 ▶ 14:50 **PhD登龍門の活動と展望**
杉山 直 (名古屋大学PhD登龍門コーディネーター、理学研究科教授)
- 14:50 ▶ 17:00 **活動報告・外部評価**
- 17:30 ▶ 19:30 **意見交換会 (希望者のみ)**

参加申込

参加をご希望の方は、お名前・ご所属・ご身分・連絡先 (メールアドレス、電話番号)、および意見交換会 (会費2,000円を頂戴します) への出欠の有無につきまして、2月13日 (金) までに10ryumon03@adm.nagoya-u.ac.jpへメールにてお知らせ下さい。意見交換会への参加希望者には、別途、会場をお知らせします。

2015年 **2月19日** 木

10:00 ▶ 17:00 (9:30 開場)

名鉄ニューグランドホテル

7階 椿の間 (第1部) 扇の間 (第2部)

東海道新幹線「名古屋」駅下車、太閤通口から徒歩3分



協力

■ ブリティッシュ・カウンシル

後援

■ 中部経済同友会

■ 中部経済連合会

■ 名古屋商工会議所

■ 愛知日英協会